

**令和元年毒物劇物取扱者試験問題
法規(選択式問題)**

1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号1から5の解答欄にマークしなさい。

第十四条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、(問題 1)、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

- 一 毒物又は劇物の名称及び(問題 2)
- 二 販売又は授与の(問題 3)
- 三 譲受人の氏名、(問題 4)及び住所(法人にあつては、その名称及び(問題 5))

【下欄】

(問題 1)	1 直ちに	2 3日以内に	3 事前に	4 その都度
(問題 2)	1 形状	2 数量	3 製造者	4 主成分
(問題 3)	1 場所	2 年月日	3 目的	4 方法
(問題 4)	1 勤務先	2 職業	3 性別	4 年齢
(問題 5)	1 主たる事務所の所在地	2 代表者氏名		
	3 電話番号	4 毒物劇物取扱責任者氏名		

2 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 6 から 10の解答欄にマークしなさい。

第十二条 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物の容器及び被包に「(問題 6)」の文字及び毒物については(問題 7)をもつて「毒物」の文字、劇物については(問題 8)をもつて「劇物」の文字を表示しなければならない。

2 毒物劇物営業者は、その容器及び被包に、左に掲げる事項を表示しなければ、毒物又は劇物を販売し、又は授与してはならない。

一 毒物又は劇物の名称

二 毒物又は劇物の成分及びその(問題 9)

三 厚生労働省令で定める毒物又は劇物については、それぞれ厚生労働省令で定めるその(問題 10)の名称

【下欄】

(問題 6)	1 医薬用外	2 危険物	3 指定物	4 医薬品
(問題 7)	1 白地に赤色	2 白地に黒色	3 黒地に白色	4 赤地に白色
(問題 8)	1 白地に赤色	2 白地に黒色	3 黒地に白色	4 赤地に白色
(問題 9)	1 製造元	2 化学式	3 質量数	4 含量
(問題 10)	1 解毒剤	2 類縁物質	3 別名	4 官能基

3 次の物質について、毒物(特定毒物を除く。)であるものは[1]を、劇物であるものには[2]を、特定毒物であるものは[3]を、いずれにも該当しないものは[4]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 11 から 15の解答欄にマークしなさい。ただし、記載してある物質は全て原体である。

(問題 11) 硫酸アンモニウム

(問題 12) 弗化水素

(問題 13) 塩化水素

(問題 14) 四アルキル鉛

(問題 15) エマメクチン

4 次の文章で正しいものには[1]を、誤っているものには[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 16 から 25 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 16) 薬剤師は毒物劇物取扱責任者となることができる。
- (問題 17) 高等学校で、基礎化学に関する学課を終了した者は毒物劇物取扱責任者となることができる。
- (問題 18) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を 20 歳未満の者に交付してはならない。
- (問題 19) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売又は授与したときは、販売又は授与の日から5年間、譲渡手続きに必要な書面を保存しなければならない。
- (問題 20) 電気めっきを行う事業者であって、その業務上シアン化ナトリウムを取り扱う者は、毒物劇物取扱責任者を置かなければならない。
- (問題 21) 一般販売業の登録を受けた者は、農業上必要な毒物又は劇物であって厚生労働省令で定めるもの以外の毒物又は劇物の販売等を行ってはならない。
- (問題 22) 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処され、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過していない者は、毒物劇物取扱責任者となることができない。
- (問題 23) 毒物劇物営業者が個人経営から法人経営になる場合は、新たに登録を受けなければならない。
- (問題 24) 毒物又は劇物の販売業者は、その営業の登録が効力を失ったときには、15 日以内に、その店舗の所在地の都道府県知事に、現に所有する特定毒物の品名及び数量を届け出なければならない。
- (問題 25) 製造業又は輸入業の登録は、6年ごとに、販売業の登録は、5年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。

令和元年毒物劇物取扱者試験問題
法 規(記述式問題)

1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。正しい語句を法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号1から10の解答欄に記入しなさい。

第三条の三 興奮、幻覚又は(問題 1)の作用を有する毒物又は劇物であって政令で定めるものは、(問題 2)に摂取し、若しくは(問題 3)し、又はこれらの目的で(問題 4)してはならない。

第三条の四 引火性、(問題 5)又は爆発性のある毒物又は劇物であって政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、(問題 4)してはならない。

第十六条の二 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物若しくは劇物又は第十一条第二項に規定する政令で定める物が(問題 6)し、漏れ、流れ出し、しみ出、又は地下にしみ込んだ場合において、(問題 7)又は多数の者について保健衛生上の危害が生ずるおそれがあるときは、直ちに、その旨を(問題 8)、(問題 9)又は消防機関に届け出るとともに、保健衛生上の危害を防止するために必要な応急の措置を講じなければならない。

2 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は(問題 10)したときは、直ちに、その旨を(問題 9)に届け出なければならない。

令和元年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(選択式問題)

1 次の2つの物質の反応により発生する気体を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 26 から 30の解答欄にマークしなさい。

- (問題 26) 硫化鉄と希硫酸
(問題 27) ナトリウムと水
(問題 28) 炭酸カルシウムと塩酸
(問題 29) 濃塩酸と二酸化マンガン
(問題 30) 銅と熱濃硫酸

【下欄】

1	酸素	2	窒素	3	二酸化炭素	4	塩素
5	水素	6	塩化水素	7	二酸化硫黄	8	硫化水素
9	アンモニア	0	アセチレン				

2 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 31 から 35の解答欄にマークしなさい。

原子と原子が価電子(不対電子)を共有してできる結合を(問題 31)、非共有電子対を使った(問題 31)を(問題 32)という。

酸素原子と水素原子は両者の(問題 33)の差が大きいため、水分子の中で、酸素原子はいくぶん(問題 34)の電荷を帯びている。液体の水では、水分子中の酸素原子と、ほかの水分子の水素原子が互いに静電気で引きあっており、この結合を(問題 35)という。

【下欄】

1	水素結合	2	配位結合	3	金属結合	4	共有結合
5	イオン結合	6	電気陰性度	7	ファンデルワールス力		
8	正	9	負	0	イオン化エネルギー		

3 次の記述について、正しいものは[1]を、誤っているものは[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 36 から 40の解答欄にマークしなさい。

- (問題 36) カルシウムは、アルカリ土類金属であり、炎色反応は橙赤色を呈し、マグネシウムよりイオン化傾向が大きい。
- (問題 37) 酸化還元反応で、ある物質が電子を失う変化は還元、電子を受け取る変化は酸化である。
- (問題 38) 氷^こ酸化水素酸はガラスを溶かすため、ポリエチレンの容器に入れて保存する。
- (問題 39) 一般的に、同じぐらいの分子量をもつ物質の沸点を比較すると、無極性分子からなる物質の沸点よりも、極性分子からなる物質の沸点のほうが高くなる。
- (問題 40) 温度が一定ならば、一定量の気体の体積は、圧力に反比例して変化する法則をシャルルの法則という。

4 次の物質について、水溶液が酸性を示すものには[1]を、中性を示すものには[2]を、塩基性を示すものには[3]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 41 から 50の解答欄にマークしなさい。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| (問題 41) 硫酸ナトリウム | (問題 42) 酢酸ナトリウム |
| (問題 43) 硫酸アンモニウム | (問題 44) クエン酸ナトリウム |
| (問題 45) 氷 ^り ん酸二水素ナトリウム | (問題 46) 炭酸水素ナトリウム |
| (問題 47) 硝酸カリウム | (問題 48) 塩化水素 |
| (問題 49) 硫酸銅(Ⅱ) | (問題 50) 塩化アンモニウム |

令和元年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(記述式問題)

1 次の問題について、()内にあてはまる数値を、法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号 11 から 15 の解答欄に記入しなさい。ただし、原子量は、水素を1、炭素を12、酸素を16、塩素を35.5、硫黄を32とする。

- (1) 40w/v%硫酸水溶液(問題 11)mL と 60w/v%硫酸水溶液(問題 12)mL を混合すると、43w/v%硫酸水溶液 1,000 mL になる。
- (2) ある物質は、水 200g に対して 25℃で 120g まで溶ける。この物質の 25℃における飽和水溶液の濃度は、(問題 13)%である。(小数第 2 位を四捨五入せよ。)
- (3) 標準状態(摂氏0度、 1.01×10^5 Pa)でエチレン(C_2H_4) 16.8L を空気中で完全燃焼させたところ、二酸化炭素が(問題 14)g 生成した。
- (4) 水(問題 15)g に塩化ナトリウムを 20g 溶かすと、濃度が 12.5%の塩化ナトリウム水溶液となる。